

新高山城（国史跡, 続百名城）（三原市本郷町本郷）

新高山城（にいたかやまじょう）は、現在の広島県三原市本郷町に建てられた日本の城である。城跡は国の史跡に指定されている。2017年（平成29年）4月6日、続日本100名城（173番）に選定された。

概要

小早川氏の居城は代々沼田川（ぬたがわ）の対岸にあった高山城であったが、沼田小早川家を継いだ小早川隆景は、天文21年（1552年）、沼田川を挟んだ対岸に新高山城を築き、慶長元年（1596年）に三原城へ移るまで小早川氏の本拠とした。三原城の築城の際、石垣などを持ち去ったといわれている。『毛利元就父子雄高山行向滞留日記写』 小早川家文書によれば永禄四年（1561年）3月には、毛利元就と隆元がこの新高山城を訪城、数日間滞在、連日饗応が行われた。

本丸、中の丸、西の丸、北の丸、釣井の段、鐘の段などの櫓跡が残存するほか、小早川家の菩提寺、匡真寺（きょうしんじ）の跡がある。

三原市本町の宗光寺山門（国の重要文化財）は新高山城の大手門を移築したものと伝えるが異説もある。

Wikipedia による

